

2016年度 取り組み実績

マネジメント体制

THKは、法令その他の社会規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行うべく、経営監督機能の向上を図り、社内での教育活動を継続的に行っています。

安全保障貿易セミナー

6回

(日本：4営業拠点、2生産拠点)

情報セキュリティ監査

4回

(日本：2営業拠点、2生産拠点)

コンプライアンスセミナー

32回 (日本：32営業拠点)

内部監査

71拠点 (日本：54、海外：17)

社会との関わり

THKは、モノ作り企業としてより良い製品をマーケットにお届けするため、従業員の個力アップに向けた各種取り組みを実施しています。また積極的な社会貢献活動を推進しています。

改善提案提出件数

3,777件

eラーニング着手コース到達率

72.3%

国家技能検定試験合格者(2級以上)

62名(男：61、女：1)

環境との調和

THKは、環境問題への取り組みを人類共通の課題と捉え、省エネルギー、地球温暖化防止、省資材・ゼロエミッション、リスク物質管理、グリーン物流等の活動を積極的に展開します。

サプライヤー・協力会社環境調査

17件

LEDへの更新

4,405灯 20生産拠点 (日本9/米州5/中国3/アジア2/欧州1)

風力発電量

1,053 kWh (日本：1生産拠点)

太陽光発電量

59,627 kWh (日本：3生産拠点/1営業拠点)

コーポレートガバナンス

経営の透明性、客観性を高め、経営活動の意思決定の迅速化・効率化を図る社内体制を確立するとともに内部統制の強化を図っています。

ガバナンス体制

THKは「企業価値の最大化」の観点から、コーポレートガバナンスの充実に取り組むことで、中長期的な企業価値の向上を目指しております。

主な取り組みとしては、2014年6月から執行役員制度を導入しています。加えて、2016年6月18日開催の第46期定時株主総会後には、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行するとともに、取締役会の諮問機関として任意の指名諮問委員会および報酬諮問委員会を設置しました。これにより、経営に関する透明性、客観性を高めるとともに、取締役会の監督機能の強化と経営に関する意思決定および業務執行の迅速化、効率化を図っています。

POINT

▶ 監査等委員会設置会社へ移行

- 監査・監督を担う監査等委員会の構成員である社外取締役が取締役会において議決権を行使
- 内部統制システムを利用して取締役および執行役員等の職務執行の状況について監査、監督を実施

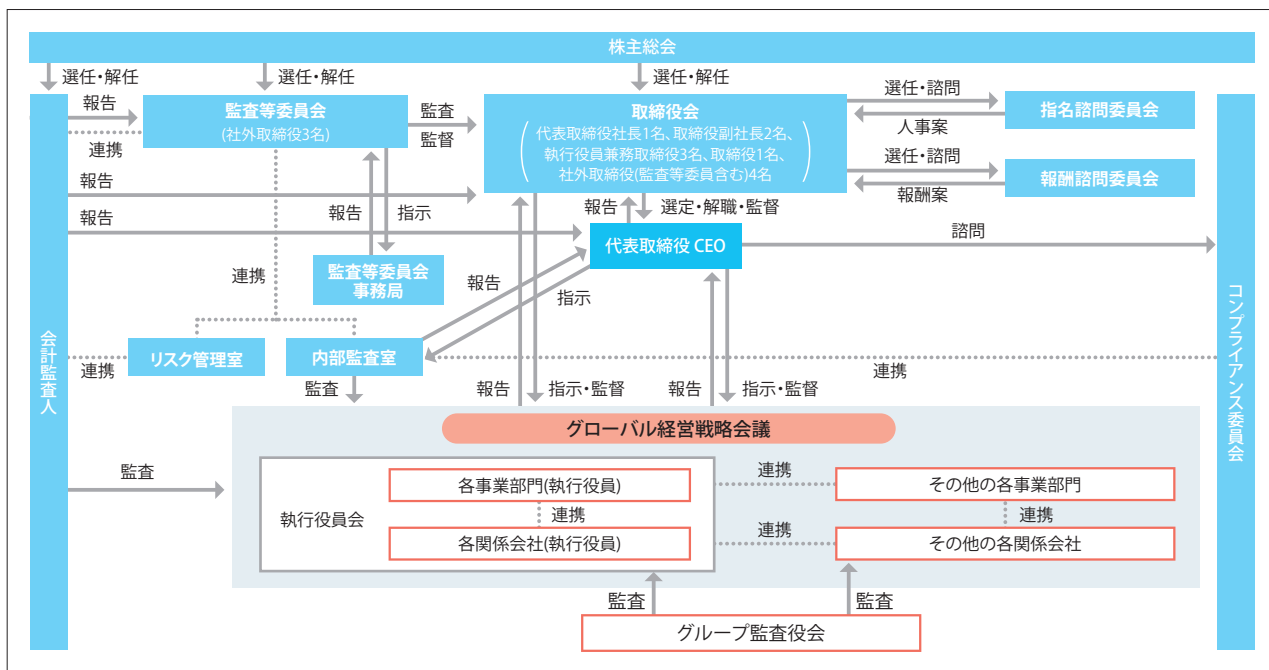
▶ 指名諮問委員会および報酬諮問委員会の設置

- さらなる透明性および公平性を確保するため、半数を社外取締役で構成
- 取締役会の諮問機関として、各委員会にて取締役の候補者案や報酬案について検討、審議し、その内容を取締役会で審議、決議

▶ 執行役員制度を導入

- 取締役会による経営監督機能の向上を図り、業務執行に関する役割と責任を明確化するとともに、業務執行を迅速化

ガバナンス体制図



内部統制

THKは法令を遵守し、経営基盤を磐石なものとするために内部統制基本方針を定め、内部統制の強化を図っています。また「財務報告に係る内部統制規程」を制定し、「金融商品取引法」に基づく財務報告の信頼性を確保する体制整備をグループ会社全体で継続して進めています。

内部統制の運用状況評価は内部監査室内部統

制監査課で、またその評価に基づいた運用改善は事務局であるリスク管理室内部統制課で行っています。

2016年度に実施した社内評価では「開示すべき重要な不備」事項はありませんでした。最終的な評価結果は、2017年6月に「内部統制報告書」を内閣総理大臣(関東財務局)に提出し開示しています。

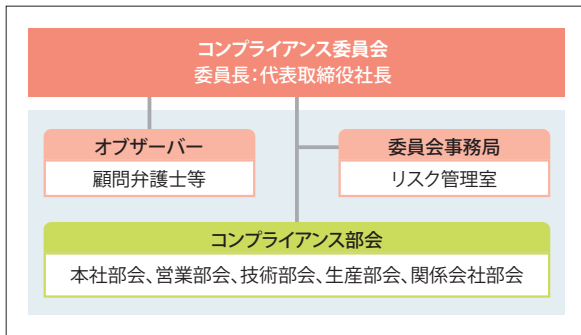
コンプライアンス意識の強化に向けて

企業倫理の徹底を図るため、従業員向けに法令や社会規範の遵守を目的とした各種コンプライアンス教育を行い、またヘルプライン通報に対しては適切な措置を取っています。

コンプライアンス委員会

社長を委員長とするコンプライアンス委員会では、年間活動計画の承認と実施報告、従業員の法令等違反や社内通報案件への対応報告等を行っています。社外取締役、顧問弁護士も参加し適正、適法に運営されています。

コンプライアンス体制図



テル等の講習会を実施し、コンプライアンスの基本的な考え方を共有しました。



THKアメリカにおける講習風景



TMAにおける講習風景

3. 営業拠点における講習会実施

THKとTHKインテックス営業社員を対象に「契約書の重要性」「コンプライアンスケーススタディ（贈収賄、PL法等）」を実施しました。



小牧支店における講習会

コンプライアンス教育活動

1. コンプライアンス部会全体講習会実施

2016年12月、コンプライアンス部会メンバー38名に対し、パワハラ予防と人間関係のあり方について外部講師による定例講習会を実施しました。

講習会の実施後、受講者全員に、理解度のみならず、職場で起こっている問題点や不安点をチェックシートに記載してもらっています。内容によっては、個別の対応や次年度の活動計画に取り込んでいます。



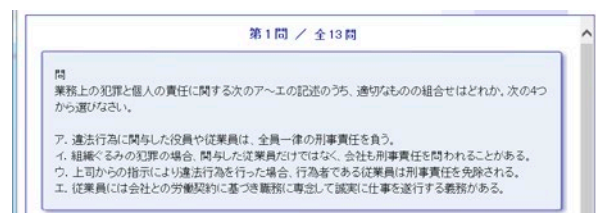
部会メンバー全体講習会

2. 海外コンプライアンス講習会実施

2017年4月、THKアメリカ、TMA(THK Manufacturing of America)にて、幹部社員計19名に、汚職やカル

4. eラーニング教材追加

日常業務で身に付けておくべきコンプライアンス知識の向上を目的に、社内のeラーニング環境に教材を掲出しており、2017年3月には新たに13問を追加しました。管理職者に配布してあるTHKグループコンプライアンス・マニュアルの中から設問と回答を作り、マニュアルの理解を促進しています。



eラーニングに追加した設問の一例

THKグループヘルプライン

役員および従業員のコンプライアンス違反を防止し、万一違反が発生した場合でも早期に適切な措置を施すことを目的として、社内通報制度「THKグループヘルプライン」を開設しています。2016年度は7件の通報を受付け、関係部署と連携のうえ適切に対応しております。

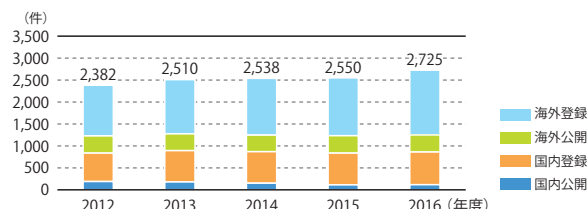
リスクマネジメント・ 情報セキュリティ

想定されるリスクに対応するため知的財産、BCP、安全保障貿易の取り組みや、情報セキュリティ事案への体制構築を行っています。

知的財産

THKは創業以来、創造型開発企業として独創性の高い製品開発に伴う新技術の保護を重視し、積極的な知財活動を行ってきました。近年では事業のグローバル展開、新規事業開拓を加速するため、早期権利化を目指すとともに海外での特許出願等を活発化させています。今後も独創的な製品開発を通じて豊かな社会作りに貢献し続けるため知的財産を尊重し、活用を推進していきます。

知的財産保有推移



BCP

THKは大規模地震等の災害発生に備えたBCP(事業継続計画)を策定し、被害軽減と早期の事業復旧を図るため、各種取り組みを行っています。

サーバー対策

- サーバー等の主要システムは、本番機とバックアップ機を別々のデータセンターで運用し、災害発生時のリスク低減を図っています。
- 本番機に支障が生じた場合のバックアップ機への切り替え訓練を年に1回実施し、万一の際に速やかな対応を行えるようにしています。
- 切り替え訓練の結果をもとに問題点を洗い出し、改善を実施することでレベルアップを図っています。

耐震対策

- 生産拠点では部品、治工具等の保管棚、営業拠点ではプリンター、キャビネット等に転倒防止器具を設置しています。

備蓄品

- 全事業所に飲料水、食料、毛布、簡易トイレ等、また工場では救出用具、非常用発電機等を準備しています。

安全保障貿易

当社では、通常の取引審査は社内イントラネットワークを活用し、輸出貨物や役務提供の迅速な該非判定を行い、輸出貿易管理令別表第1に該当する貨物や特殊な用途の取引審査は代表取締役による取引審査ならびに経済産業省への相談により、的確な審査と必要な手続きを実施しています。

情報セキュリティ

社長を委員長とする「情報セキュリティ委員会」を2006年から常設し、委員会規程で組織と権限および役割と責任を明確にしています。委員会では、情報セキュリティ体制構築に関する方針の決定や、情報セキュリティ事案への対応を審議しています。2016年度は情報セキュリティ委員会事務局による情報セキュリティ社内監査を日本4拠点(2営業拠点、2生産拠点)で実施しました。また、従業員への情報セキュリティ教育として、情報セキュリティ自己点検を全社で実施し、従業員の継続的な意識啓発を図るとともに、実態把握に努めています。

全社のセキュリティレベルを維持し、情報漏えい等の事故や事件が発生しないように下記の対策を講じています。

- アンチウイルスソフトが正常に稼働しているかの監視
- ウイルスが発見された場合の早急なる原因調査体制
- 不正アクセスや不正送信を防止する監視体制
- セキュリティ事故発生時の対応マニュアル

情報管理体制図

